



ロケットはいつ、だれが発明したの

昔のロケットは兵器に使われた

ロケットは、11世紀に中国で発明されたといわれています。太めの竹をくりぬいて、中に黒色火薬（木炭、硫黄、しょう石などを混ぜたもの）をつめこみ、火をつけてとばしたのです。これは「火や」とよばれ、兵器として使用されました。

ロケットの父、ツィオルコフスキー

兵器としてではなく、宇宙旅行用として、現在のようなタイプのロケットを最初に考えたのは、旧ソ連のツィオルコフスキーです。液体燃料を使い、多段式などのアイデアのほとんどを考えだし、「ロケットの父」とよばれています。

このツィオルコフスキーの考えを、初めて実験したのは、アメリカのゴダードです。1926年、世界最初の液体燃料ロケットの打ち上げに成功しましたが、水平きよりで56メートル飛んだだけでした。

超大型ロケットはフォン・ブラウンが発明

1942年10月。ドイツのフォン・ブラウンは、長さ13メートル、直径1.7メートル、1トンのばくだんを積み、音速の5倍というスピードで、300キロメートルも飛ぶV2号ロケットを完成させました。このロケットは、第2次世界大戦の末期に、イギリスのロンドンや、フランスのパリをこうげきする兵器として使用されました。

そして、1957年10月4日、旧ソ連は世界で初めてロケットを使って、人工衛星スタートニク1号の打ち上げに成功し、世界は衛星の打ち上げ競争に入ってしまったのです。

（監修 小川 格）

